

FC-600

データコレクター

取扱説明書

本製品をご使用前に、「安全にお使いいただくために」(別紙)を必ずお読みください。

Copyright © August 2020 Topcon, Inc. All rights reserved.情報は、予告なく変更されることがあります。

Topcon® は、株式会社トプコンの登録商標です。データコレクター FC-600 は株式会社トプコンの商標です。

Android™ および Google Play は Google LLC の商標です。

Bluetooth® のワードマークは、Bluetooth SIG, Inc. が所有し、ライセンスに基づき株式会社トプコンによる使用が許可されています。

本書に記載されているその他の会社名および製品名は、それぞれの所有者の商標です。

! **注意:** このシンボルマークは、指示を守らなかった場合、物的損害や情報の損失が生じる恐れがあることを示しています。

使用者について

- この取扱説明書は、測量について知識がある方を対象に書かれています。操作・点検・調整などは、この取扱説明書を熟読し内容を理解した上で、測量について知識がある方の指示に従って行ってください。
- 測量作業の際は保護具(安全靴、ヘルメットなど)を着用ください。

海外への輸出について(米国の輸出許可の確認)

本製品は EAR (Export Administration Regulation) の対象となる部品・ユニットが組み込まれている他、ソフトウェア・技術を含んでおります。

輸出国(お持込みになる国)によっては、米国の輸出許可が必要となります。このような場合には、お客様ご自身で手続きしていただきますようお願いいたします。

なお、輸出許可が必要となる国は 2020 年 3 月時点で以下のとおりです。変更になる場合もありますので、米国輸出管理規則 (EAR) をご自身でご確認ください。

北朝鮮

イラン

シリア

スーダン

キューバ

米国 EAR の URL:<http://www.bis.doc.gov/policiesandregulations/ear/index.htm>

海外への輸出について(電波法への適合の確認)

本製品は無線機能を搭載しています。海外で使用する場合は、その国の電波法への適合が必要になります。

輸出(お持ち込み)でも、電波法への適合が必要になることがあります。あらかじめ最寄りの営業担当にご相談ください。

免責事項について

- ・火災、地震、第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して当社は一切責任を負いません。
- ・本機器の使用または使用不能から生ずる付随的な損害(データの変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など)に関して当社は一切責任を負いません。
- ・取扱説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に対して当社は一切責任を負いません。
- ・接続機器との組み合わせによる誤動作などから生じた損害に対して当社は一切責任を負いません。

目次

1	ご使用になる前に	1
	各部の名称.....	2
	初期タスクの実行.....	4
2	標準機能	7
	オペレーティングシステム.....	8
	組込み済みのアプリケーション.....	8
	アプリのインストール.....	9
	表示画面およびタッチスクリーン.....	13
	キーパッドの機能.....	15
	電源管理.....	17
	LED アクティビティインジケータ	18
	データストレージオプション.....	18
	Bluetooth® ワイヤレス通信.....	19
	Wi-Fi ワイヤレスネットワーキング.....	20
	ファイルの共有.....	20
3	保管、メンテナンス、およびリサイクル	21
	2 週間を超える FC-600 の保管.....	22
	FC-600 の洗浄.....	22
	FC-600 とバッテリーのリサイクル.....	23
4	仕様	25
	データコレクター FC-600 の仕様.....	26
	索引	31

1

ご使用になる前に

ご使用になる前に

FC-600 Field Computer は Android™ を搭載し、Bluetooth® 無線技術、Wi-Fi、数値キーパッドを備えています。標準構成品にはリチウムイオンバッテリーパック、AC 充電器、USB ケーブル、三脚用フック、ハンドストラップ、スタイラスペンが含まれます。

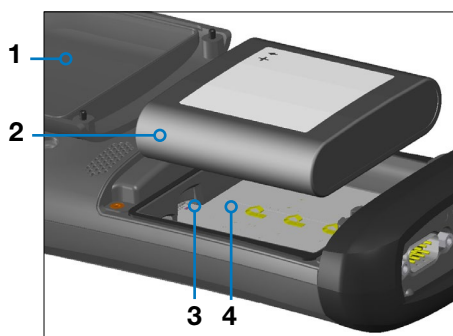
各部の名称

正面および背面の機能



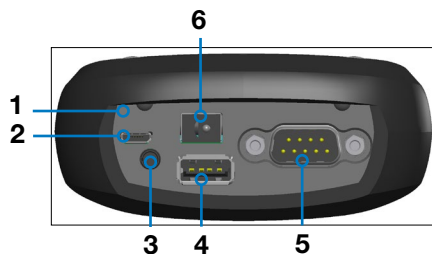
- | | | | |
|---|---|----|--|
| 1 | バンパー、上部 | 8 | スピーカー |
| 2 | タッチスクリーン | 9 | バッテリーカバー固定用ねじ
(脱落防止ねじ 4 本のうちの
1 本) |
| 3 | キーパッド | 10 | ハンドストラップ(スタイラス
ペンホルダーとテザーリング
付き) |
| 4 | センサー(オプション) | 11 | バッテリー収納部および SD
カードスロットのカバー |
| 5 | マイク | | |
| 6 | 電源ボタン | | |
| 7 | LED インジケーター
(右:充電インジケーター、
左:ステータスインジケ
ーター) | | |

バッテリー収納部およびカードスロット



- 1 バッテリーカバー、ねじ、ハンドストラップ (カバーを取り外した状態)
- 2 バッテリーパック
- 3 SD/SDXC カードスロット (マイク口)
- 4 バッテリー収納部

コネクターモジュール



- 1 コネクターモジュール
- 2 USB クライアント(マイク口)
- 3 マイク / スピーカジャック
- 4 USB ホスト(フルサイズ)
- 5 9 ピンシリアルポート
- 6 12-24V DC ジャック

初期タスクの実行

FC-600 がお手元に届いたら、初めて使用する前に本項で説明する手順を実行してください。

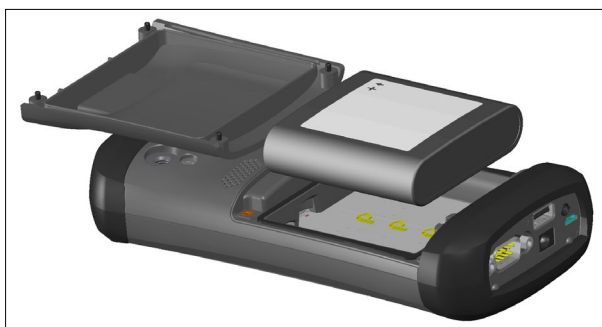
バッテリーパックと SD カードの取り付け

FC-600 は充電式リチウムイオンバッテリーパックを使用しています。バッテリーパックを次のように取り付けて、充電します。

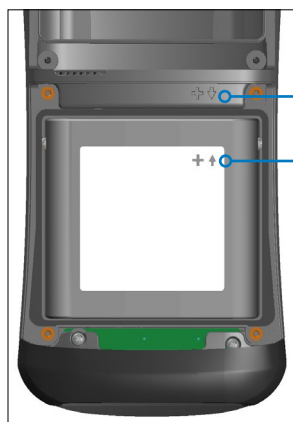
1. バッテリー収納部は、本体の裏側にあります。バッテリー収納部のカバーを固定しているねじ 4 本を、プラスドライバーで緩めます。カバーを外します。ハンドストラップを外す必要はありません。



注意: バッテリーカバーが取り付けられていない場合、FC-600 は、水やほこりから保護されません。



2. 追加のメモリー用にマイクロ SD カードを使用する場合は、バッテリーパックを取り付ける前の時点で、または別のタイミングでカードを取り付けることができます。SD カードの取り付けに関する詳細は、[18 ページの「データストレージオプション」](#)をご覧ください。
3. リチウムイオンバッテリーパックを収納部に装着します。バッテリーパックのラベルに表示されているマークが、収納部内のマークに合うように取り付けてください。



イラストのようにケースのマークとバッテリーパックのマークの位置を合わせます

4. カバーを取り付け、ねじを締めます。
バッテリーパックの充電中はキーパッドの赤色の LED が点滅します。4～6 時間、室温でバッテリーパックを充電します。

2

標準機能

標準機能

この章では、FC-600 の全モデルに含まれる標準機能について説明します。

オペレーティングシステム

FC-600 には Android オープンソースプロジェクト (AOSP) オペレーティングシステムが搭載されています。機能が多様であること、多くの利用者にとって広く知られていることから、本製品ではこのオペレーティングシステムを採用しました。

電源オン、電源オフ、再起動

FC-600 の電源をオンにするには、電源キーを押して放してください。ロック画面を上方向にスワイプすると、ホーム画面が表示されます。

電源キーを長押しして、[電源オフ]または[再起動]を選択します。

メモ: 所定の時間が経過すると、表示画面は自動的にスリープ状態になります (これは [設定] で調整できます)。電源キーを押すとロック画面が表示されます。上方向にスワイプしたら、最後に開いていた画面が表示されます。

組み込み済みのアプリケーション

FC-600 には次の組み込み済みアプリケーションが付属しています。

- 計算機
- カレンダー
- クロック
- コンタクト
- ダウンロード
- 電子メール
- ファイル
- ギャラリー
- 音楽
- オペラ (Web ブラウザ)
- 検索
- 設定
- サウンドレコーダー

メモ: 個々のユニット上のソフトウェアは、このリストと異なる場合があります。

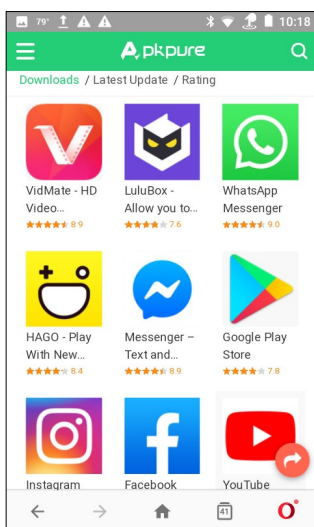
アプリのインストール

FC-600 には Android オープンソースプロジェクト (AOSP) が搭載されています。このプロジェクトは Google によって作成され、現在も Google によって管理されています。これはすべての Android OS の基本になります。ただし多くの Android 搭載デバイス には Google モバイル サービス (GMS) と呼ばれる別のサービスがあります。GMS は Google が所有する専有機能を備えた Google アプリをまとめたものです。FC-600 には GMS がないため、Google Play は使用できません。

Google Play は Android アプリをダウンロードするのに便利で広く利用されている方法ですが、他にも利用できる方法はあります。

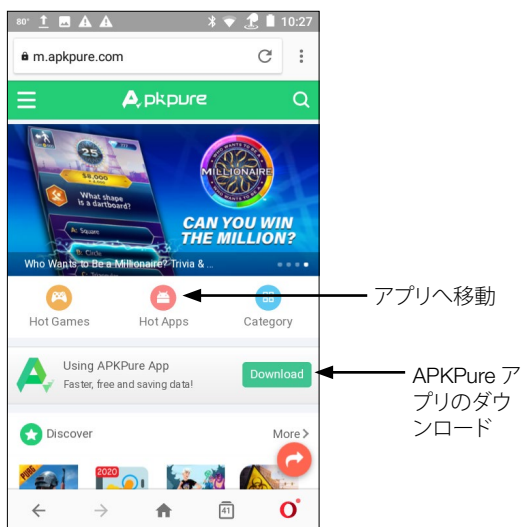
APKPure

APKPure アプリストアでは、Google Play から利用できるものと同じアプリの多くが利用できます。



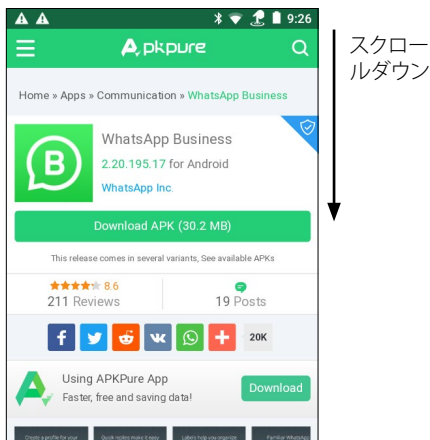
APKPure ストアにアクセスするには、apkpure.com へ移動します。

ホーム画面で[人気のアプリ]をタップしてメインのアプリストアを開くか、継続して使いやすいように APKPure アプリをダウンロードします。



メモ:APKPure をダウンロードした後にインストールされない場合は、セキュリティ設定の変更が必要なことがあります。[設定] > [セキュリティ]の順に進みます。[提供元不明のアプリ]をオンにします。これで、提供元からのアプリのインストールをFC-600 が受け入れれます。APKPure のインストール後、必要に応じてこの設定を無効にします。

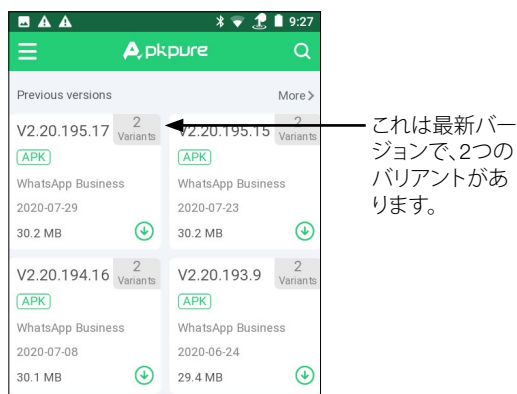
FC-600 での APKPure アプリのバージョン



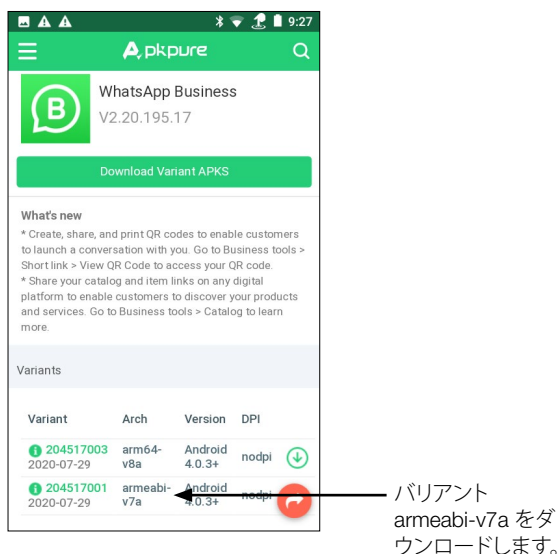
FC-600 は **armeabi-v7a** アーキテクチャーを使用して構築されたアプリに対応しているため、APKPure ストアの特定バージョンのアプリのみを使用できます。適切なバージョンを見つけるには、以下の手順を行います。

1. ダウンロードするアプリをタップします。
2. アプリのページで、[前バージョン]までスクロールダウンします。

3. バリエント(Variants)のある最新バージョンを選択します。



4. アプリのバリエント[armeabi-v7a]をダウンロードします。



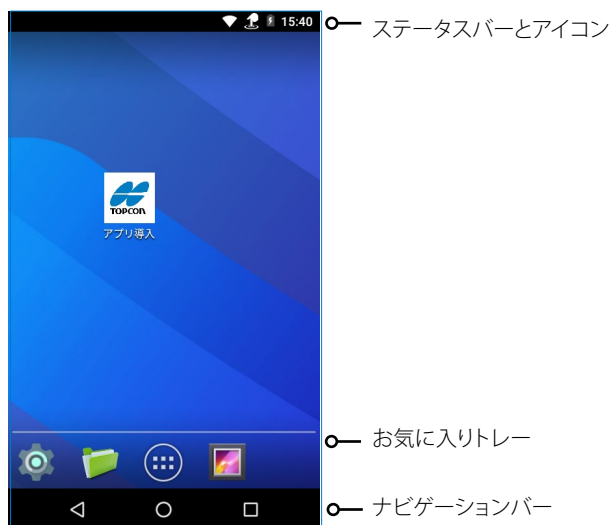
FC-600 にアプリをインストールするための別の方法として、Amazon アプリストアやアプリ開発者の Web ページを利用する方法か、または、パソコンにアプリをダウンロードしてから USB メモリーやフラッシュメモリーを使用して共有するサイドローディングがあります。Android アプリは「.apk」拡張子を使用します。

表示画面およびタッチスクリーン

明るさ、壁紙、スリープの間隔、フォントサイズ、画面の方向など表示画面の設定を調整するには、[設定] > [ディスプレイ]の順に進みます。

ホーム画面

ホーム画面は次の要素で構成されます。



タッチスクリーンのタッチコントロール設定

タッチスクリーンのコントロール設定を調整するには、[設定] > [タッチコントロール]の順に進みます。画面を最適化するプロファイルを、指、スタイラス、または湿潤状態から選択します。

メモ:FC-600 を湿潤状態で使用するときは、指または付属の先端が丸いスタイラスペンを使用する必要があります。先端が硬いスタイラスペンは機能しません。他のサードパーティー製のスタイラスペンを、FC-600 のタッチプロファイルに使用できる場合もあります。

タッチスクリーンの無効化と有効化

FC-600 のタッチスクリーンは無効にすることが可能です。これは、アプリケーションを実行中にタッチスクリーンの意図しない起動を避けながら画面を見たい場合に便利です。タッチスクリーンは洗浄のときにも無効にできます。

タッチスクリーンを無効にするには、キー (P1～P8) の 1 つをプログラムして、この機能を使用できるようにする必要があります。

1. [設定] > [キーパッド] の順に進みます。
2. プログラムするキーを選択します (P1～P8)。
3. スクロールアップして、[タッチスクリーンの有効化 / 無効化] を選択します。

これで、プログラムしたキーがタッチスクリーンのオン / オフスイッチとして機能します。

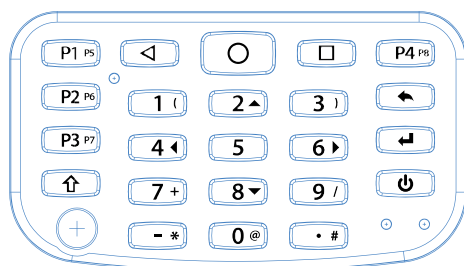
タッチスクリーンが無効のときは、次のアイコンがステータスバーに表示されます。



キーパッドの機能






FC-600 には密閉構造でバックライトとファンクションキーを備えた数値キーパッドが付属しています。大部分のキーはプログラム可能です。

キーを再プログラムするには、[設定] > [キーパッド]の順に進みます。






次の表は各キーのデフォルト設定を示しています。

ボタン	押して放す	シフト機能 合
○	ホーム	ホーム
◀	戻る	戻る
□	アプリの選択	アプリの選択
P1 P5	左	輝度アップ
P2 P6	アップ	輝度ダウン
P3 P7	ダウン	タブ
P4 P8	右	音量を上げる
2 ▲	2	アップ
4 ◀	4	左
6 ▶	6	右
8 ▼	8	ダウン
↶	バックスペース (削除)	音量を下げる
↵	Enter	Enter

ボタン	押し放す	シフト機能 
	シフト(機能) <ul style="list-style-type: none"> ■ 特定のシフト機能を使用する場合:まず  を押し放してから、希望するシフト機能のボタンを押して放します。 ■ すべてのキーのシフト機能をオンにする場合:  を 2 回押し放します。シフト機能をオフにするには、もう一度押し放します。 緑色の LED の説明を参照 	特定のボタンの説明を参照
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 電源 ■ 再起動 	なし

以下の機能はプログラム可能キーを通じてのみ利用できます。

音量コントロール

FC-600 ではプログラム可能キーを使用して音量をコントロールします。デフォルトの音量キーは、音量を上げる場合は P8 ( + P4)、音量を下げる場合は  +  です。キーはユーザーが使いやすいようにカスタマイズできます。カスタマイズは [設定] > [キーパッド] の順に進んで行います。

スクリーンショット

FC-600 では、スクリーンショットの撮影はプログラム可能キーを使用して有効にします。スクリーンショット撮影のデフォルトキーはありません。この機能を有効にするには以下の手順を行います。

1. [設定] > [キーパッド] の順に進みます。
2. スクリーンショット撮影用にプログラムするキーを選択します (P1～P8)。
3. スクロールアップして [スクリーンショット] を選択します。

電源管理

FC-600 は充電式リチウムイオンバッテリーパックを使用しています。フル充電時のバッテリーの使用時間は、20 時間以上になることがあります。これはバックライト、公開アプリケーション、および無線の使用状況によって異なります。

! **注意:** 指定されたバッテリーのみを使用してください。それ以外のバッテリーを使用すると、製品の保証が無効になります。

バッテリーパックの充電

リチウムイオンバッテリーパックは室温 (20°C) で最も効果的に充電できます。ただし 0°C ~ 50°C の範囲であれば充電は可能です。バッテリーパックはこの温度範囲外では充電されない可能性があります。FC-600 のバッテリーパックは過充電になることはありません。

長期保管のためのバッテリーの取り外し

FC-600 の長期保管のために電源を切るには、次の手順を行います。

1. 電源ボタンを短い間押したままにして、[電源オフ]を選択します。
2. バッテリーパックを取り外し、乾燥した涼しい場所に保管します。
3. FC-600 の電源を入れる準備ができたなら、バッテリーパックを交換します。AC 充電器をコンセントにつなぎ、FC-600 に接続してから電源をオンにします。電源ボタンを押すと、ユニットが起動を開始します。

! **注意:** バッテリーを取り外す前に、必ず FC-600 の電源を切ってください。FC-600 の電源をオフにせずにバッテリーを取り外すと、FC-600 に損傷を与えたりデータが失われたりすることがあります。

ロックしたユニットの取り扱い

FC-600 が完全にロックして応答しない場合は、電源メニューが表示されるまで電源キーを 2、3 秒押したまま保持します。[電源オフ]を選択します。それでも機能しない場合は、電源ボタンを 10 秒間押したままにします。これによって、ハードウェアがシャットダウンします。もう一度電源キーを押し、電源をオンにします。

! **注意:** ユニットの動作中に強制終了すると、FC-600 に損傷を与えることがあります。通常の状態では FC-600 の電源を切るときは、強制終了は行わないでください。

LED アクティビティインジケーター

LED アクティビティインジケーターはキーパッド上の電源ボタンの下にあります。



右側の赤色の LED (電源アダプターと連動) :

- 点滅: AC アダプターがプラグに差し込まれ、バッテリーが充電中です。
- 点灯: AC アダプターがプラグに差し込まれ、バッテリーがフル充電の状態です (充電中ではありません)。

左側の緑色の LED (シフト機能と連動) :

- 点灯: シフトキーを押すと、別のキーが押されるまで緑色の LED が点灯したままになります。シフト機能がロックされている場合、緑色の LED が点灯したままになります。

左側の青色の LED (通知機能と連動) :

- 青色の LED は個別のアプリによってコントロールされ、通知機能に利用できます。

データストレージオプション

フラッシュデータストレージ

FC-600 の内部ストレージは16GBです。ストレージの容量と用途 (アプリや画像の保管など) を確認するには、[設定] > [ストレージ] の順に進みます。

SD/SDXC カード

FC-600 は、バッテリー収納部にマイクロ SD カード用のスロットがあります。カードを挿入する、または取り外すには、次の手順を行います。

1. 電源メニューが表示されるまで電源ボタンを長押しし、[電源オフ]を選択して、FC-600 の電源をオフにします。



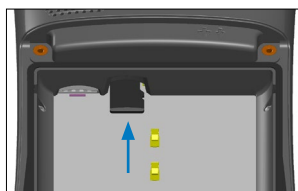
注意: バッテリーを取り外す前に、必ず FC-600 の電源をオフにしてください。FC-600 の電源をオフにせずにバッテリーを取り外すと、FC-600 に損傷を与えたりデータが失われたりすることがあります。

2. バッテリー収納部のねじを緩め、カバーを取り外します。ハンドストラップは付いたままです。



注意: バッテリーカバーが正しく取り付けられていない場合、FC-600 は、水やほこりに対して保護されません。

3. バッテリーパックを取り外します。
4. バッテリーコンポーネントラベルの図は、SD カード (右側のスロット) の正しい位置と向きを示します。カードをスロットに押し込んで挿入します。SD カードを取り外すには、SD カードを引き抜きます。



5. バッテリーパックを元の場所に戻し、バッテリーカバーを取り付けます。
6. FC-600 の電源をオンにします。

Bluetooth® ワイヤレス通信

FC-600 には Bluetooth® 無線技術が組み込まれています。試験済み動作範囲は 30 メートルですが、実際の範囲はペアリングした FC-600 およびデバイスの出力によって異なります。

接続するデバイスで FC-600 をテストします。実際の動作範囲は、テスト済み動作範囲を大幅に超えることがあります。

FC-600 のペアリング

Bluetooth を使用して、FC-600 と別のデバイスとのペアリングを行うには、次の手順を行います。

1. FC-600 およびデバイスをオンにします。
2. FC-600 およびデバイスで、Bluetooth を検出可能にします。FC-600 では Bluetooth はデフォルトでオフになっています。オンにするには、[設定] > [Bluetooth] の順に進みます。
3. Bluetooth 設定画面に、範囲内のすべての Bluetooth 搭載デバイスのリストが表示されます。リスト内でペアリングするデバイスの名前をタップします。メッセージが表示されたら、ペアリングするデバイスの PIN またはパスワードを入力します。

これで FC-600 は、そのデバイスとペアリングできました。

Wi-Fi ワイヤレスネットワーキング

FC-600 には Wi-Fi アンテナが組み込まれており、2.4 GHz の Wi-Fi ネットワークに接続できます。

Wi-Fi ネットワークへの接続

Wi-Fi を使用するには、接続するために Wi-Fi アクセスポイントの範囲内にいる必要があります。FC-600 で Wi-Fi をセットアップするには、次の手順を行います。

1. **[設定]** > **[Wi-Fi]**の順に進みます。
2. 左上隅のラジオボタンを **[オン]**に切り替えます。
3. そのエリアで利用可能な Wi-Fi ネットワークのスキャンが開始し、リストが表示されます。
4. 使用するネットワークを選択し、ネットワークパスワードを入力します (ロックされたネットワークの場合)。FC-600 では作成された Wi-Fi ネットワーク接続が記憶されます。

[設定] > **[Wi-Fi]**の画面から、Wi-Fi のオフとオンを切り替えることができ、設定を管理することができます。**[リンク速度]**などの情報を表示するには、FC-600 が現在接続されているネットワークをタップします。**[ネットワークの変更]**など他のオプションを見るには長押しします。

ファイルの共有

他の Android 搭載デバイスと同様、FC-600 ではファイルを簡単に共有できます。パソコンと直接ファイルを共有するのに最も簡単なのは、マイクロ USB ケーブルを使用する方法です。USB ケーブルで FC-600 をパソコンに接続すると、パソコンは許可を求め、FC-600 を外部ドライブとして認識します。

ファイル共有の選択肢には他に、USB メモリー、*Bluetooth* 無線通信、クラウドサービス、アプリケーション同期、電子メールがあります。

3

保管、メンテナンス、
およびリサイクル

保管、メンテナンス、およびリサイクル

本章の指示に従って、FC-600 のメンテナンスおよびリサイクルを適切に行ってください。

2 週間を超える FC-600 の保管

FC-600 を 2 週間以上保管するには、次の手順を実行します。

1. バッテリーを 30%~50% 充電します。
2. 実行中のすべてのプログラムを閉じ、電源メニューが表示されるまで電源ボタンを長押しして [電源オフ] を選択し、FC-600 の電源を切ります。



注意: バッテリーを取り外す前に、必ず FC-600 の電源を切ってください。FC-600 の電源をオフにせずにバッテリーを取り外すと、FC-600 に損傷を与えたりデータが失われたりすることがあります。

3. バッテリーパックを取り外します。
4. バッテリーパックを乾燥した涼しい場所に置きます。

FC-600 の洗浄

タッチスクリーン

1. 緩やかな流水でタッチスクリーンをすすぎ、泥や砂、その他の傷がつくものを洗い流します。
2. マイクロファイバークロスに温水か低刺激洗浄液をつけ、タッチスクリーンを軽く拭きます。
3. 水ですすぎ、マイクロファイバークロスを使って乾かします。



注意: 研磨パッド、毛ブラシ、刺激の強い洗浄液はタッチスクリーンに使用しないでください。

ケース、バンパー、接続モジュール

バッテリーカバーがしっかり取り付けられていることを確認します。ケース、バンパー、接続モジュールの洗浄には温水、低刺激石鹼、柔らかい刷毛を使用します。



注意: 洗浄の際は、FC-600 に高圧水流を直接当てないでください。この行為によって、FC-600 内に水が入り込み、保証が無効になる恐れがあります。



注意: 自動車ブレーキクリーナー、イソプロピルアルコール、気化器クリーナー、その他同様の溶液など、一部の洗浄液に晒されると、FC-600 が破損する恐れがあります。クリーナーの強度または影響

が不確かである場合は、テストとして目立たない場所に少量を適用します。外観の変化が明らかになった場合は低刺激洗浄液で即座にすぎ、洗ってください。

FC-600 とバッテリーのリサイクル

FC-600 が寿命に達した場合、一般廃棄物と一緒に廃棄することはできません。電気機器および電子機器のリサイクルを行う指定の回収場所へ持ち込み、責任を持って廃棄してください。廃棄場所が不明な場合は、弊社までお問い合わせください。

FC-600 のリチウムイオンバッテリーパックは、リサイクル可能です。ゴミや一般廃棄物システムには廃棄しないでください。

4 仕様

データコレクター FC-600 の仕様

機能	仕様
オペレーティングシステム	<ul style="list-style-type: none"> ■ Android™ 7.1 AOSP by Google ■ 日本語、英語、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ブラジルポルトガル語
プロセッサー	<ul style="list-style-type: none"> ■ 1.2 GHz クアッドコア ARM Cortex A9 i.MX6
メモリ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 2 GB RAM
プライマリデータストレージ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 16 GB フラッシュストレージ
マイクロ SD/SDXC カードスロット	<ul style="list-style-type: none"> ■ マイクロ SD/SDXC スロット、ユーザーアクセス可能
物理的特徴	<ul style="list-style-type: none"> ■ 寸法：幅 91 mm x 長さ 184 mm x 厚さ 38 mm ■ 質量（バッテリーを含む）：590g ■ 断耐力、耐衝撃性に優れた設計の、耐久性の高い強化プラスチック ■ 高い耐化学性 ■ 握りやすく人間工学的に優れたフォームファクタ ■ 衝撃吸収バンパー ■ 幅広く快適なハンドストラップ
表示画面	<ul style="list-style-type: none"> ■ 有効表示領域：4.3 インチ（109 mm）カラー WVGA LCD TFT ■ 800 x 480 ピクセル解像度 ■ LCD バックライト ■ 屋外での表示可能 ■ 縦向き（デフォルト）または横向き
タッチスクリーン	<ul style="list-style-type: none"> ■ オプティカルボンディングで表示画面と貼り合わせ視認性を向上した、静電容量タッチインターフェース ■ 強化ガラス ■ 耐擦傷性スクリーン ■ タッチスクリーン無効機能 ■ タッチスクリーンプロファイルオプション

機能	仕様
キーボード	<ul style="list-style-type: none"> ■ 数値キーパッド ■ モディファイヤ機能 ■ プログラム可能キー LED ■ バックライト ■ スクリーンキーボードオプション
バッテリー	<ul style="list-style-type: none"> ■ 充電式リチウムイオンバッテリーパック、3.6VDC 12000mAh、43.2Whr ■ 使用時間：20時間（最長） ■ 充電時間 4～5 時間 ■ インテリジェントな内蔵バッテリー ■ ユーザーによる交換可能、フィールド充電可能
コネクタ I/O モジュール	<ul style="list-style-type: none"> ■ RS-232C 9 ピン D-sub コネクタ、+5VDC @ 500 mA、ピン 9 の RI (Ring Indicate) 信号を通して供給 (ソフトウェア設定) ■ USB ホスト (Type A) ■ USB クライアント (micro B) ■ 12-24 VDC ジャック (電源および充電用) ■ 3.5mm オーディオジャック、スピーカー / マイクまたはステレオ出力に対応 (ピン検出) ■ 充電用ドッキング型接点 ■ OEM 構成 / カスタマイズ可能
ワイヤレス接続	<ul style="list-style-type: none"> ■ Bluetooth® 無線技術 4.2 BR/BDR/BLE 「Smart Ready」、Class 1.5、動作範囲 30 m 以上 ■ Wi-Fi 802.11b/g/n (2.4 GHz)、米国および米国以外
オーディオ	<ul style="list-style-type: none"> ■ スピーカー ■ マイク ■ 3.5 mm オーディオジャック、ステレオヘッドセットとマイクを同時使用可 (スピーカーの無効化機能)
LED アクティビティインジケータ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 赤色：電源投入 / 充電中状態 ■ 青色：通知、アプリケーションプログラム可能 ■ 緑色：シフト機能、アプリケーションプログラム可能

機能	仕様
温度の仕様	<ul style="list-style-type: none"> ■ 動作時温度：-30°C～60°C メモ:Bluetooth® 無線技術の動作温度範囲は -20°C～50°C です。 ■ 保存温度：-30°C～70°C ■ バッテリー充電時温度：0°C～50°C ■ 電源交換時の最高使用温度は 40° C
耐衝撃性	<ul style="list-style-type: none"> ■ 約 1.5 m の高さからコンクリートへの複数回の落下に耐える
環境規格および標準	<ul style="list-style-type: none"> ■ IP68 に適合、気密性、防水防塵 ■ MIL-STD810G テスト手順： <ul style="list-style-type: none"> - Method 500.5 Low Pressure (Altitude) (低圧 (高度)) - Method 501.5 High Temperature (高温) - Method 502.5 Low Temperature (低温) - Method 503.5 Temperature Shock (温度衝撃) - Method 506.5 Rain (雨) - Method 507.5 Humidity (湿度) - Method 510.5 Sand and Dust (砂とほこり) - Method 512.5 Immersion (液浸) - Method 514.6 Vibration (振動) - Method 516.6 Shock (衝撃)
保証	<ul style="list-style-type: none"> ■ 保証書に記載の通り

機能	仕様
付属のソフトウェア	<ul style="list-style-type: none"> ■ 計算機 ■ カレンダー ■ クロック ■ コンタクト ■ ダウンロード ■ 電子メール ■ ファイル ■ ギャラリー ■ 音楽 ■ オペラ (Web ブラウザ) ■ 検索 ■ 設定 ■ サウンドレコーダー <p>メモ:個々のユニット上のソフトウェアは、このリストと異なる場合があります。</p>
構成	<ul style="list-style-type: none"> ■ ベース: Wi-Fi、Bluetooth、2GB RAM、16GB ストレージ
認証および規格	<ul style="list-style-type: none"> ■ Bluetooth SIG 認証 ■ USB クライアント ■ IP68 防水 (1.4m で 2 時間) および防塵
標準構成品	<ul style="list-style-type: none"> ■ リチウムイオンバッテリー ■ USB マイクロクライアント同期ケーブル ■ 国際プラグキット付き AC 充電器 <ul style="list-style-type: none"> - 入力: 100-240 VAC、50/60Hz、0.5A - 出力: 12 VDC、1.67 A ■ 静電容量式スタイラスペン ■ スクリュードライバー ■ クイックスタートガイド

機能	仕様
別売付属品	<ul style="list-style-type: none"> ■ ショルダーストラップ ■ シリアルケーブル ■ 車載充電アダプター ■ ホルスターケース ■ フリップカバーケース ■ 三脚用フック ■ 8GB マイクロ SDHC メモリーカード ■ 高品質スクリーンプロテクター <p>別売付属品に関する詳細については、営業担当者にお問い合わせください。</p>

メモ:仕様は、予告なく変更されることがあります。

索引

索引

あ

- アクティビティインジケータ 18
- アプリ 8-10
 - インストール 9
 - APKPure 10
 - Topcon アプリケーション情報 9
 - 組込み済み 8
- オペレーティングシステム 8, 26
- 温度の仕様 28

か

- 各部の名称 2
- キーパッド 15
 - プログラム可能キー 15-17
 - スクリーンショット 16
 - タッチスクリーンの無効化 14
 - 音量コントロール 16
- 機能
 - 標準 8
- ケアおよびメンテナンス 22
 - ストレージ 22
 - 洗浄 22-23
- コネクタモジュール 3, 27
 - 洗浄 22

さ

- 仕様 26-30
- ステータスバー 13
- スピーカー 2, 27
- 洗浄 22

た

- タッチスクリーン
 - タッチコントロール設定 13
 - タッチスクリーンの保護 22
 - 仕様 26
- 注意 4, 17, 18, 19, 22

データストレージ 18
電源オフ 8
電源管理 17
 バッテリーの寿命 17
 バッテリーパックの充電 17

は

ハードウェアの特徴 2-3
バックライト 15, 17, 26
バッテリーパック 2-3, 17
 アクティビティインジケータ 18
 インストール 4
 ストレージ 22
 バッテリーの寿命 17
 リサイクル 23
仕様 27, 29
表示画面 13, 26
 無効化 14
ファイルの共有 20
ホーム画面 13

ま

マイク 27

ら

リサイクル 23

A

Android ii, 2, 8, 9, 12, 20, 26

B

Bluetooth 19, 27, 29
 ペアリング 19

F

FC-600 の保管長期 17, 22

R

RS-232C ポート 3, 27

S

SD カード 2, 3, 4, 18, 26, 30

U

USB 2, 3, 12, 20, 27, 29

W

Wi-Fi 2, 20, 27, 29



商品に関するお問い合わせ
トップコン測量機器コールセンター

☎ 0120-54-1199 (フリーダイヤル)
受付時間9:00～17:00 (土・日・祝日・トップコン休業日は除く)

ホームページ <https://www.topcon.co.jp>

株式会社 **トプコン** 〒174-8580 東京都板橋区蓮沼町75-1

株式会社 **トプコンソキアポジショニングジャパン**

本社 〒174-8580 東京都板橋区蓮沼町75-1 TEL (03)5994-0671 FAX (03)5994-0672

©2020 TOPCON CORPORATION
ALL RIGHTS RESERVED
無断複写及び転載を禁ず